

三重県の守り神
護國の大神に感謝の誠を捧げましょう



三重縣護國神社は 皆様のご安寧と
世界の恒久平和を 祈願しています



三重縣總守護 三重縣護國神社



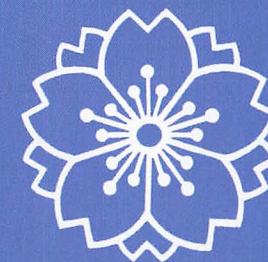
〒514-0006 三重県津市広明町387鎮座
津駅西口から徒歩5分

TEL : 059-226-2559

FAX : 059-225-5593

受付時間 午前 9:00 から 午後 4:00

神社の最新情報はこちらから



三重縣總守護

三重縣護國神社



御 由 緒

御創祀は明治2年、第11代津藩主藤堂高猷公が津藩士37柱を祀る為、津八幡宮境内に小祠を建て、「表忠社」と称したのが始まりとされています。

明治8年に「招魂社」、明治34年には「官祭招魂社」と社名を変え、明治42年に関西府県連合共進会の跡地である現在地に遷座しました。昭和14年4月には、内務省令によって現在の社名である「三重県護國神社」となりました。

昭和20年7月の津空襲の際、本殿と神饌所は戦火を免れましたが、旧拝殿以下諸社殿は灰燼に帰す事となります。昭和28年に神社の造営復興に関する請願が各郡市長以下名士の名義で県議会議長と県知事に提出され、大造営が始まります。請願から4年の歳月を経た昭和32年に県民、崇敬者の御浄財を以て悲願の復興造営が果たされました。

皇室からの御崇敬も厚く、節目の年には陛下より幣饌料を賜り、昭和50年には天皇皇后両陛下が三重県へ巡幸の折、御親拝の荣誉に預かりました。

明治の創建以来、三重県の守り神として、平和と繁栄の神様、安心・安全の神様として厚く崇敬されてきました。又、御祭神が願われていたのが、これからの日本を担う幼い子供たちの成長であることから、子どもの神様としても県内外から広くその崇敬を集めています。



津空襲以前の社頭風景

御 祭 神

ごこくのおおかみ

御本殿 …… 「護國の大神」

護國の大神とは、「国安かれ」の一念のもと平和の礎となられた三重県ゆかりの御英霊6万300余柱の総称です。御英霊は身分や男女の区別なく、祖国に殉じられた尊い神霊として、一律平等に御本殿で祀られています。



年 間 行 事

1月1日	歳旦祭
1月15日	どんど焼
2月11日	紀元祭
2月17日	祈年祭
2月23日	天長祭
春分の日	春分祭
4月21日	春季例祭
4月22日	春季例祭
4月29日	昭和祭
6月30日	夏越大祓
8月13日	みたま祭点灯式・・・万灯みたま祭1日目
8月14日	式年みたま祭・・・万灯みたま祭2日目
8月15日	大東亜戦争 終戦の日 英霊感謝祭・・・万灯みたま祭3日目
秋分の日	秋分祭、祖霊社例祭
10月21日	秋季例祭
10月22日	秋季例祭
11月3日	明治祭
11月23日	新嘗祭
12月31日	年越大祓、除夜祭
毎月1日	月次祭(1月を除く)
毎月15日	中旬祭(8月を除く)
毎日早旦	御本殿御日供祭 儀式殿御日供祭



ご 祈 禱 の ご 案 内

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 安産祈願 | 初宮詣 | 厄除八方除祈願 |
| 家内安全祈願 | 商売繁盛祈願 | 車輛交通安全祈願 |
| 七五三詣 | 合格祈願 | 病気平癒祈願 |
| 通学安全祈願 | ランドセル祓 | 技芸上達祈願 |
| お礼参り | 旅行安全祈願 | 事業安全祈願 |
| 社運隆昌祈願 | 健康長寿祈願 | 神前結婚式 |
| その他諸祈願 | | |

地鎮祭、家祓、神葬祭等の出張祭典も受け付けています
お電話にてご予約下さい

